

「文化」としての ヒップホップ



MC RYU

4歳~18歳までをロスで過ごし、通訳などを経て1993年ラッパーとしてデビュー。日本のヒップホップ・R&Bシーンを支える一人として幅広い層から絶大な支持を得ている。インターFM[TOKYO DANCE PARK]でのMCも大好評。3人の子供の父親という顔も持つ。

言葉の意味を理解しないで踊らせてしまおうは「無知」だと思っ

ヒップホップはダンスでカッコつけるにはもつてこの素材なんです。本当は、それを始めてアメリカの黒人の歴史や文化などを理解しておいたほうがいいんですけど、少なくとも言葉だけは理解しておいてほしいです。正直、ヒップホップのラップにはいくつも「汚い言葉」が入っています。メジャーになったラッパーはあまり使わなくなるけど、アンダーグラウンドのイライツイ音楽には高速のラッ

プにそういう言葉がよく使われています。暴力や攻撃性や犯罪や性的な表現など、アンダーグラウンドの黒人たちの欲望がスラングで散りばめられていますね。

だから、本人が意図せずにとんでもない言葉でダンスをしているYouTube動画を、英語を理解する外国人が見て卒倒する、なんてことがあり得るわけです。東京オリンピックを控えて、日本のダンスがグローバルに広がるかもしれない時代に、そこを理解していないで、先生が子供たちを踊らせてしまうことは、僕は正直「無知」だと思えます。日本のキッ

ズにまでのダンスやヒップホップが広がったとき、実はそこを一番心配していたんです。

逆にアメリカではそういう音楽に対する社会的な規制が厳しい。同じ曲でも「クラブバージョン」と「ラジオバージョン」があり、後者はそういった言葉にミュートがかかっていました。この「クラブバージョン」をラジオでかけてしまったら、多額の罰金を支払う場合もあるし、公の場所であけたらスクリーンングが起きます。日本でもそのへんを理解しているDJは、曲をかけたがらそういう言葉を抜く(ミュートする)ことができますからね。ダンサーがそこを回避するためには、日本語の曲で踊ることが一番なんだろうけど、現実はそのいかないから、部活ならば先生が洋楽の対訳を汗流して探してチェックするところでしょうか。さっきの「ラジオバージョン」を使つたか、あ、ガンアクションやキヤン

コラム #2

グ的な振りの付けなどにも意識的になるべきです。一概にそれが駄目というわけではないけ



▶毎週土曜日にオンエアされるダンス専門ラジオ番組「TOKYO DANCE PARK」。毎回、多彩なゲストやDJを迎えて、貴重なトークやダンスミュージックをオンエアする。ダンス初心者リアルな情報を得るにはびつたりの番組。写真は、筆者とダンス部員が出演した時の模様。

ど、誤解を受ける可能性がある、ということくらいは知っておいた方がいいと思うんです。それに、黒人のノリやファッションに憧れる、というダンサーは多いと思うけど、実はそれを黒人は一番嫌がるんですよ。

ダンスミュージックにもいろいろな音楽があるし、素晴らしい内容の歌詞もたくさんある。ダンスは歌詞の内容や世界観を理解して、それを身体で表現することだから、スラングのチェック以前にすべてのダンサーは曲が何を歌っているかは知るべきじゃないかなと思います。

厳しいことはかり言うつもりだけど、日本人のダンサーは本当にまだ、みなさんの一生懸命なダンスへの気持ちは世界へ誇れるものだと心から思っています。だって、逆に黒人の高校生はみんなみたいに何十人で揃えて踊る、なんてできないからさ！ そういう良さを活かしつつ、学ぶべきことは学び、オリンピックに向けて日本のダンスをアピールしていくってほしいです！